



# 浦和大里小学校だより

1月号 令和7年1月7日発行

教育目標  
夢と希望をもち、  
人間性豊かで  
心身ともに  
たくましい子の育成



## マイ・グッドライフ

校長 中野 緑

謹んで、新年のご挨拶を申し上げます。旧年中は、浦和大里小学校の教育活動に多大なるご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございました。本年も、子どもたちの今の幸せ・未来の幸せを求めて、保護者や地域の皆様のお力添えをいただきながら、職員一同、努力してまいります。

ゆったりと過ごす年末、親戚中が集まる我が家では「1年間の10大ニュース」を家族で発表し合うという恒例行事があります。家族で1年を振り返るのですが、年をとるにつれて、1年間が早く過ぎ去るような気がしています。

その一方で、1時間より長く感じる5分間があります。興味がもてない内容の講演会や、サッカーのアドিশョナルタイムなど、何度時計をみても針が遅々として進まない感じ、共感していただけるでしょうか。時間は誰にも平等なはずではありますが、見方によっては伸び縮みするもののようです。

年末が迫り、過ぎゆく時間について振り返っているさなか、6年生から質問されました。

「校長先生にとっての価値ある生き方とは何ですか？」

重い問いです。簡単に答えは出ませんし、適当に答えては許してもらえそうにありませんでした。考え込んでしまった私に、6年生がさらに問いました。「それでは、校長先生はなぜ先生になろうと思ったのですか。」「なにかきっかけとなるようなことはあったのですか。」質問を重ねられるうちに、自分が教員を目指したきっかけや、何に喜びを感じているのかが明らかになってきました。「校長先生は、人が喜ぶ姿を見るのが好きなんですね。仕事を通してそれを実現しようと努力されているのですね。」6年生にこれまでの30年以上にわたる教員として積み重ねた時間を肯定してもらったような気持ちになりました。

6年生は言います。「カッコイイ大人になりたいです。」

この1年間、総合的な学習の時間で考え続けている「マイ・グッドライフ」は、時間の積み重ねでできていくもの。小学校生活のかけがえのない6年間という時間を、自分にとってのよりよい生き方を実現するための道をつくる、価値ある時間で満ちてほしいと願っています。

さあ、3学期のはじまりです。子どもたちの挑戦を後押しし、子どもたちの成長とともに喜ぶ1年間といたしましょう。保護者の皆様、地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いたします。